

小節	練習曲と留意点 (順不同)	備考
遠くへ行きたい		
1~26 小節	音取り (一部復習)	全
2 小節	ド→レ# (1音半) は思い切り上がって	T1
4 小節	ソ#→ラの“ソ#”はもう少し出して	T2
15~16 小節	①ミの音が続くが、新たに直すつもりで ②“どこか…”の“ど”は口をタテに開けて	Br
全般	一番強いところで“mf” 曲想記号の“Lentamente”は「遅く、ゆう然として」	全
君は今でも		
6 小節	ラbの音程に注意	Br
89~96 小節	音取りの確認 ①89~90 小節：“きみはいまでも”の音の動きに注意 ②90~91 小節：“おぼえているか”の音の動きに注意	全 T1・T2 Br・Bs
全般	ロマンティックな曲なので明るい発音を心がけて	
雨後		
市芸術祭(6/30)		
1~4 小節	“またひとつ”の“つ”は <i>cresc.</i> が“くもは”まで続く (“くも”の前で音が途切れないように)	全
5~6 小節	まつ葉 (<i>cresc.</i> と <i>decresc.</i>) をもっと強調して	全
18 小節	臨時記号の個所を強調して。特にレ#は 明るく	T1
29 小節	“くものきれめに”は最後までシッカリと声を保って	T1
38~39 小節	“…うかぶ”の“ぶ”は音がしぼまないように	T1
アカシアの径		
1~6・23~30 小節	1~6 のハミング(T1 は Lu)、23~30 の Ah——の音確認	全
61 小節~	この辺から <i>rit.</i> がかかる	全
全般	Bs のソロ (6~38 小節) が客席に届くようにオブリガートは控えめに。特に、23 小節からの“Ah——”が大きくなりがち	全
逍遙歌		
1~41 小節	音取り	全
21 小節~	“a——”はファ#→ド#まで思い切り上がって	T1
全般	出だしは <i>mp</i> で始まり、後半 (83・132 小節) に来る <i>f</i> (フォルテ) に備えるように	全

* 歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1 : 市村

☆同席された藍原恵子先生から次のアドバイスがありました。

1. 唇を合わせて離すまでに時間をもう少し保って (マミムメモ、パピプペポ)
2. 舌を歯の付け根にくっつけて (タチツテト、ナニヌネノ、ラリルレロ)
3. “オ”の発音は口をタテに開けて
4. 次のフレーズの風景・景色を思い浮かべて歌うことにより、ことばが鮮明に伝わる